

### 日本外務省外交史料館所蔵チベット関係資料の整理と研究

日本外務省外交史料館には、19世紀末から20世紀中期のチベットに関する貴重な档案史料が大量に保存されている。これらの膨大な档案文献は、主に近代日本政府と中国のチベット地方との間で交わされた電信・文書・報告書、チベットに訪問した日本人による考察記録、イギリスと清朝との間のチベット交渉に関する文件、中国政府によるチベット経営に関する措置や近代チベットの社会経済宗教調査資料などが含まれている。本研究は主に史料整理と主題研究二つ部分に分けられる。第一部分は外務省外交史料館所蔵のチベット資料に関する系統的な収集、分類作業・目録の作成、要旨と説明文（档案の作成時期、頁数、文章の体裁の特徴など）の執筆作業を行いました。第二部分は歴史学の理論と方法を用い、外交史料館が所蔵する一次資料を中心として、近代日本とチベットの関係について研究を行いました。

本研究は、以下の幾つかの意義がある。

- (1) 日本に所蔵されているチベット関係の日本語資料の整理と研究という学術的な空白領域を埋め、国際関係史（特に日中関係史研究）、及びチベット近現代史研究者に、新鮮且つ詳細・豊富な一次資料を提供した。
- (2) 近 100 年間の日本とチベットの交流の史的脈絡、特徴と実像を系統的且つ客観的な理解を促す上で、併せてチベット近代史研究の発展を促し、国際的なチベット学研究の底上げを図ることができる。
- (3) 日本と中国などアジア諸国との間に共通の「歴史認識」をもたらし、日中両国の国民相互の理解と認識に対する更なる促進に寄与する。

#### 研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

題名：「日本外務省外交史料館所蔵チベット史料及びその価値について」  
 発表者名：李麗  
 会議名：中国民族史学会第12回学術討論会  
 日時：2008年7月28日  
 場所：陝西省咸陽市

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

題名：「近代日本とチベット——外務省外交史料館所蔵資料を中心として」  
 発表者名：李麗  
 掲載誌：「青海民族大学学报」2009年第4期（2009年10月）

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

書物原稿：『日本外務省外交史料館所蔵チベット関係資料の整理と研究』  
 出版予定時期：2010年10月